

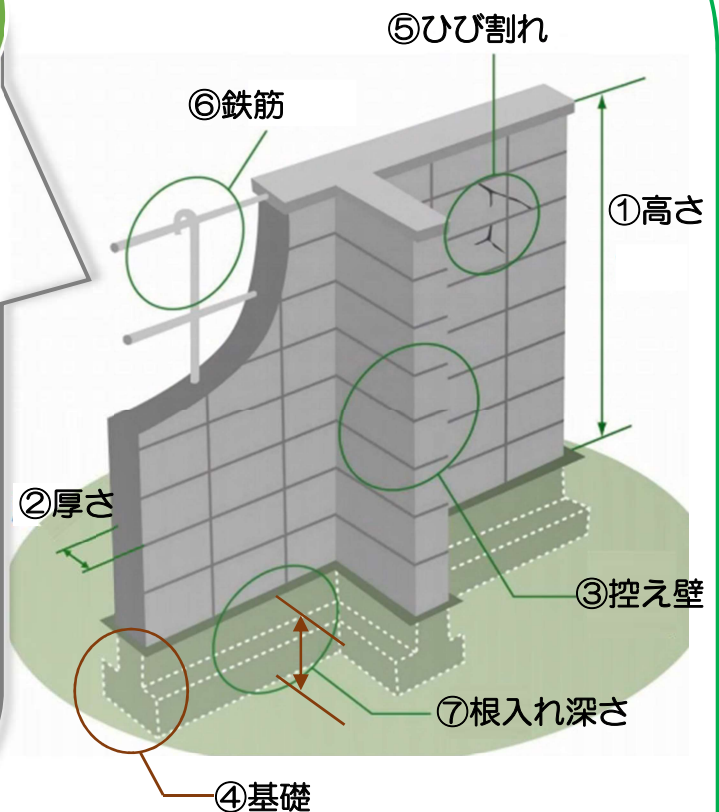
ブロック塀などの安全確認をしましょう

ブロック塀等について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。まず外観で、下記の1から5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、建築士などの専門家に相談しましょう。

ブロック塀の点検チェックポイント

点検項目

- ①塀は高すぎないか。
 - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- ②塀の厚さは十分か。
 - ・塀の厚さは10cm以上か。
(塀の高さが2mを超え、2.2m以下の場合は15cm以上)
- ③控え壁はあるか。(塀の高さが1.2mを超える場合)
 - ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの5分の1以上突出した控え壁があるか。
- ④基礎があるか。
 - ・コンクリートの基礎があるか。
- ⑤塀は健全か。
 - ・塀に傾き、ひび割れはないか。
- 〈専門家に相談しましょう〉
- ⑥塀に鉄筋が入っているか。
 - ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
- ⑦根入れ深さは十分か。
 - ・基礎の丈は35cm以上か、根入れ深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2mを超える場合)



※組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)の塀の場合は、次によりチェックして下さい。

- 1. 塀の高さは地盤から1.2メートル以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ4メートル以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

〈専門家に相談しましょう〉

- 6. 基礎の根入れ深さは20センチメートル以上か。